あすなろ

教育目標
自分の考えをもち　みんなとともに　向上しようとする子
〇かんがえる子　〇あたたかい子　〇きたえる子

学校だより　令和８年１１月２０日（金）

子供の背中を押す「ほめる」言葉の力

～新しい一歩への不安を安心感に変え、自己肯定感を育むために～

教育長訪問を通して見えた子供たちの成長

１１月初旬、教育長訪問が行われ、東濃教育事務所や中津川市教育委員会の方々に本校の授業や児童の様子を参観していただきました。放課後の全体会では、授業の中で一人一人がじっくりと考え、自分の言葉で堂々と説明する姿や、仲間との関わりを大切にする姿に高い評価をいただきました。１年生の算数でも、一人であっても大勢の仲間がいるかのように大きな声で考えを伝える姿が見られました。本校では統合を見据え、一日の授業の中で自分の考えを伝える場を意図的につくり、「個の力」と「表現力」を鍛える取り組みを続けています。

統合に向けた子供たちの本音と、背中を押す支援

訪問中、教育委員会の方が児童に統合についての思いを尋ねると、「楽しみにしているけれど、ちょっと不安」という正直な胸の内を聞くことができたそうです。大勢の中に入る期待感の一方で、不安を抱くのは自然なことです。統合までの残り５か月、学校では「わくわく感」が「不安」よりも大きくなる教育活動を推進していきます。「大丈夫だよ」と優しく背中を押すことで安心感が生まれ、新しい学校への期待感を育んでいきます。

ご家庭でできる支援と自己肯定感を育む「言葉の力」

子供たちが新しい環境へ一歩を踏み出すために、何よりの力となるのがご家庭での「ほめ言葉」と「承認」です。「あなたなら大丈夫だよ」「毎日よくがんばっているね」という温かい言葉は、子供の心に「安全」を作り出します。この「安全」があるからこそ、「自分には価値がある」という自己肯定感が育ち、失敗や不安にぶつかっても「次もやってみよう」と前を向く勇気が湧いてきます。

今日からできる「ほめ方」３つのポイント

１．成果ではなく「過程」をほめる
「テストの点数が良かった」という結果だけでなく、「毎日コツコツ宿題に向かったね」「諦めずに最後まで解いたね」と努力の過程を認めましょう。

２．存在そのものを認める
「アイメッセージ」「元気に帰ってきてくれて嬉しい」「あなたが笑顔だとハッピーになる」など、「私」を主語にして存在そのものを喜ぶ言葉を伝えましょう。

３．小さな変化を見逃さずに伝える
「靴をそろえられたね」「気持ちよく挨拶ができたね」といった日々の小さな成長を言葉にして伝えましょう。

スケート池の清掃活動、ありがとうございました

１１月９日（月）の午後、スケート池の清掃を行いました。保護者の方々、子育て支援部会の方々、地域のボランティアの方々にご協力をいただき、短時間で整備を終えることができました。週初めのお忙しい中、本当にありがとうございました。

